

# 第5回臨時会

・町長行政報告

□10月8日の台風23号に伴う被害状況について  
 台風23号は、暴風域を伴ったまま北上し、8日正午には温帯低気圧に変わりましたが、道東・道北地方に記録的な大雨をもたらしました。本町でも、8日午前4時頃から雨が降り始め、オホーツ

## 町長行政報告 (要旨)

□低気圧による強風被害について  
 10月1日から2日の台風並みに発達した低気圧は、本町でも最大瞬間風速33・5メートルを観測し、強風による転倒などで救急搬送された方もおりました。またこの他にも、

立木の倒木や堆肥舎などのトタン屋根がはがれ飛び消防署員が出動し対応したほか、農作物では収穫直前のデントコーンが倒伏いたしました。  
 この時点より、各地域から次第に被害の報告が相次ぎ、佐呂間別川の水位もさらに上昇し、公住宮前団地付近から特別養護老人ホーム付近では、周りの水が集まり一部の

ク総合振興局全域に暴風・大雨(土砂災害)・洪水・高潮警報が発令され、本町の雨量、日降水量は182ミリに達し、また最大降水量としては午後1時から午後2時までの1時間に19ミリを記録し、10月としては「観測史上始まって以来の最大瞬間雨量」となりました。

町の対応いたしましたしましては、警報が発令されました午前5時43分から正午までの雨量が55ミリに達し、その後も降雨量が増え災害発生の恐れがあったため、午後1時に対策本部を設置して、町道、河川等を中心に職員が巡回を続け情報を把握しながら、経過を見守っておりますが、佐呂間別川の水位が短時間に上昇し、総雨量が90ミリとなった午後2時には、中佐呂間の水位観測所で避難判断水位の34・69メートルまで到達しました。

道路が冠水したため、佐呂間町消防団による内水の排水作業とともに、浜佐呂間、富武士でも土のうの設置、さらには4箇所避難所を開設し、それぞれ災害対策を講じておりましたが、その後も降雨量は増え続け、午後6時には総雨量が151・5ミリとなり佐呂間別川の氾濫危険水位に達したことから、網走開発建設部に対して揚水車の出動要請を行い、午後9時20分から揚水車による排水作業を行った結果、特別養護老人ホームへの浸水を防ぎ、入所者及び周辺住民の安全を確保することができました。



揚水車による排水作業

その後は、1時間当たりの降雨量も少なくなり、佐呂間別川の水位も8日午後11時から徐々に減少したため、市街地区・浜佐呂間地区・富武士地区などで自主避難をされた40名の方は9日午前9時までに全員自宅に帰宅し避難所を閉鎖いたしました。  
 結果的に、8日の降り始めから9日午前9時までの総雨量は187ミリとなっております。  
 今回の災害では、道路の通行止めにより「ふれあいバス」の運休で学校も臨時休校などの措置をとり、交通面などで住民生活に一部支障が出たものの、幸いにして大きな人的被害や家屋倒壊の被害などはありませんでしたが、農作物の被害や床上浸水などで生活に不便を強いられた町民の皆様には改めてお見舞いを申し上げますとともに、被害のあった町道や小河川などにつきましましては現在復旧作業を進め、その内2箇所の地区については、公共施設災害復旧事業の認定を受け、今後復旧に努めてまいりますことをご報告いたします。

# 第5回臨時会

・審議した議案

第5回臨時会が10月23日に開催され、一般会計補正予算と条例制定の議案審議を行い、いずれも原案のとおり可決しました。

## 第5回臨時会10月23日開会

### 審議した議案

#### 予算 条例

□平成27年度一般会計補正予算(第5号)  
 1億3850万円が追加され、予算の総額が56億4997万円になりました。  
 【主な歳入】  
 ・普通交付税 1億3850万円  
 【主な歳出】  
 ・重機等借上料(災害復旧費) 4332万円  
 ・トップウシバツ川災害復旧工事 1700万円  
 ・富武士知来間道路災害復旧工事 1500万円  
 ・イワシユケコマナイ川災害復旧工事 1200万円



□平成27年10月発生台風23号による暴風雨災害に伴う個人の町民税等の減免に関する条例の制定  
 台風23号により被害を受けた住民の救済を図るため本条例を制定するものです。  
 対象となる町税は、10月9日以降に納期が来る27年度分の個人町民税、固定資産税、国民健康保険税で、損害の状況などに応じた基準により減免されます。



◎台風23号の被災者支援について  
 【質問】今回の補正予算は公共的なものだが、農家など個人的な被害について農協から要請があった場合はどう対応するのか。  
 【答弁】農協から要請があれば協議したいと思えます。  
 ◎災害復旧工事の内容について  
 【質問】悠林館電話機取替工事の内容は。また、機器の導入方式(買取・リース)は検討したのか。  
 【答弁】電話機の主装置が落雷により故障し、館内全ての電話機が使えなくなったが、古い装置のため部品がなく修理不能な状況なので、主装置及び電話機の全てを取り替えるものです。  
 導入方式は、長い目で見るという考えもあってもリースよりも買取が有利と考え買い取り方式としました。

◎災害時の対応について  
 【質問】今回の災害においては、収穫期等と重なり、重機やオペレーターなどの人員不足はなかったのか。  
 【答弁】工事についても繁忙期となっており、重機なども少なく、これからビートの収穫が始まるとダンプ等も少なくなってくる。そういったことで、大変苦労しているところですが、何とか地元企業にお願いして対応してもらっている状況です。  
 【質問】近年は異常気象により各地で災害が頻発している一方で、重機等の特殊車両は操作できる人が限られており、町においても定年で人員が減少している。そこで、オペレーター等が不足したとき、町内の退職された方にお願いをするという方法もあると思うが活用されているのか。  
 【答弁】民間企業で人手不足となったときは、役場や民間を退職された方が重機のオペレーターとして働いており、町の事業においても民間企業のオペレーターとして作業されているところがあります。